

集会案内

日曜日

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyoikai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「国境越え」

ロシアのウクライナ侵攻によって、十六日目の（侵攻は二月二十五日に始まった）三月十二日時点では、避難民が二六〇万人に上ったとされる。彼らは着の身着のまま、徒歩、あるいは車で脱出している。しかも、いつミサイルが飛んでくるか、空爆されるか、銃撃されるか分からない中での避難である。十八才から六〇才までの男子は祖国を守るために出国してはいけないことになっているので、ほとんどの避難者たちは高齢者と子供連れの母親たちである。

その退避は何と不安で恐怖に満ちたものであるか。避難民はウクライナ全土から電車などで隣国へ逃れるために、駅は混雑の極みにある。いつまで待ったら電車に乗れるのかという不安と苛立ちの中で、時には十時間待っても乗れずに家に帰ったという人もいた。電車はポーランドまで行くものもあるが、国境までだと歩いて越えるしかない。夜には零下五度近くまで気温が下がり、国境を越えられずに死んだ子供までいた。国境は大勢集まるので何時間も立って待たないといけない。そのような中で人々は、疲労と空腹、恐怖と睡眠不足、トイレの心配や同行の家族の世話の中で、その不安は計り知れないものがある。

一方、国境を越えてポーランドに入ると、見知らぬ人が温かく迎えてくれる。ゆっくり休めるシェルターがある。そして何よりも死の恐怖から解放されたという安堵感は、言葉に表せないものがある。一日に十万人ともいわれる避難民を快く迎えてくれる近隣の国々、特にポーランドには感謝しかない。彼らも過去に幾たびとなくソ連の暴挙に身をさらされてきたという辛く悲しい歴史があるからで、ウクライナの避難民に心を通わせることができるのである。

ウクライナ避難民のニュースを見聞きするたびに、天国に入る時の安堵感はいかばかりかと思うのである。この世で多くの試みを経た後に、救い主イエスに迎えられる喜びは、言葉に表すことは出来ないであろう。その時のために、家族関係者の一人も脱落することなく、死という国境を越えて約束の地である天国へ行ってもらいたいものである。そのために必要なのは信仰というパスポートである。「これらの人（信仰の勇者）は、信仰をいじめて死んだ」（ヘブル十一・13）とあるように、信仰をもって安住の地へ行こうよ！ あなたも私も

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。